

情報デザイン応用演習II 12. ポートフォリオ作成 II

目次

- 初めに
- 制作していくよ
 - イメージしよう
 - ページ構成
 - ヘッダーフッター
 - トップ
 - About Me
 - ポートフォリオカテゴリページ
 - 各作品ページ
 - イメージできたら、おおまかなところをコーディングしていこう
 - CSSの書き方注意

最初に

前回までの内容

- portfolio用Githubリポジトリの作成・ローカルへのクローン
- 企画立案・サイト設計・コンテンツ制作・Webサイトデザイン

などをやってみましたが...

ポートフォリオサイト

前提条件

実力差が激しいので、

1. 静的ページで作成する

- Github Pagesとして公開すること
- レスポンシブ対応であること

2. Wordpressを利用する

- FSE対応テーマでなければ小テーマを利用すること

3. ポートフォリオ作成ツールを利用する

のどれでも良いことにします。(本当は3は避けて欲しいけど...)

企画・掲載作品の準備

- 何を掲載するか決まりましたか？
- 作品の動画はYouTube等にあげましょう(限定公開で可)
- psd,aiはPNG, PDF等に変換しましょう。
- 作品を説明する文章を考えましょう。

ページ構成

1. トップ
2. About Me
3. ポートフォリオカテゴリーページ
4. 各作品ページ

1,2は1ページですが、3,4は複数ページとなります。

ヘッダーフッター

Wordpressでやれば自動でできるところ、静的ファイルだと手作業となる。
つまり、修正するたびに、複数ページへの修正が発生するため、気をつけよう。

トップ

1. ヘッダー

- i. ロゴ・メニュー・コンタクト(メール直でいいかなあ)
- ii. 自分を説明するキャッチとなるテキスト・画像

2. コンテンツ

- i. 画像・簡単な紹介
- ii. 一押しの作品
- iii. 飾りとしての画像

3. フッター

About Me

1. ヘッダー
2. コンテンツ
 - i. 自己紹介文
 - ii. 自分のスキル(扱えるソフトなど)
3. フッター

ポートフォリオカテゴリーページ

All, 及びジャンルごとにページを作成し、そこに掲載する作品へのリンクを貼る

この辺、Wordpressでやれば自動でできるところ、静的ファイルだと手作業となる

各作品ページ

- 作品が一目でわかること
- 自分がどこを担当したかわかること
- 作品についてのコメント

イメージできたら、おおまかなところをコーディングしていこう

- 今回モバイルファーストでやるけど、
- レスポンシブを意識して、ブロックに分けて、まずは構成を作ろう。(ヘッダー・コンテンツ・フッター)
- それから、その中を作っていこう
- ファイルのフォルダ階層を考えよう。
- CSSは一箇所を指示するように作るよ(css/style.css等)
- ハンバーガーメニューめんどくさかったら、とりあえずロゴの下に縦か横に並べておこう

CSSの書き方注意

CSSで変数を使えるようになっているのだから、後での修正を睨んで、変数を積極的に使っていこう

- 【超便利】CSS変数って知ってる？使いこなしてコーディングを効率化しよう！
- CSSで変数(カスタムプロパティ)を使ってみよう

AIの利用

明日のメディア表現VIでAntigravityについてはやるつもりですが...

Gemini3使うのであれば、

<https://www.gethyped.nl/>

このページにインスピレーションされた、ポートフォリオサイトをシングルページで作成してください

Gemini3を使ってポートフォリオサイトを作成するにあたって、どういうキーワードを指示すれば良いかを網羅的に教えてください。デザイントエイストやレイアウトなどに関連することも含めてください。

など、どのようなプロンプトを使うかよく考えましょう。

今日は

12回目だから、最低限、代表とするページが全部できるといいね